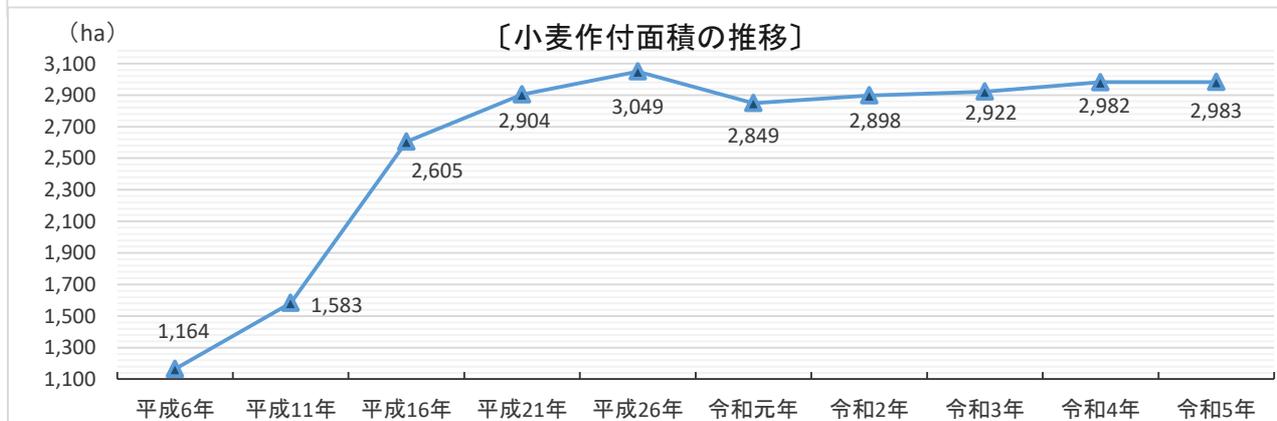
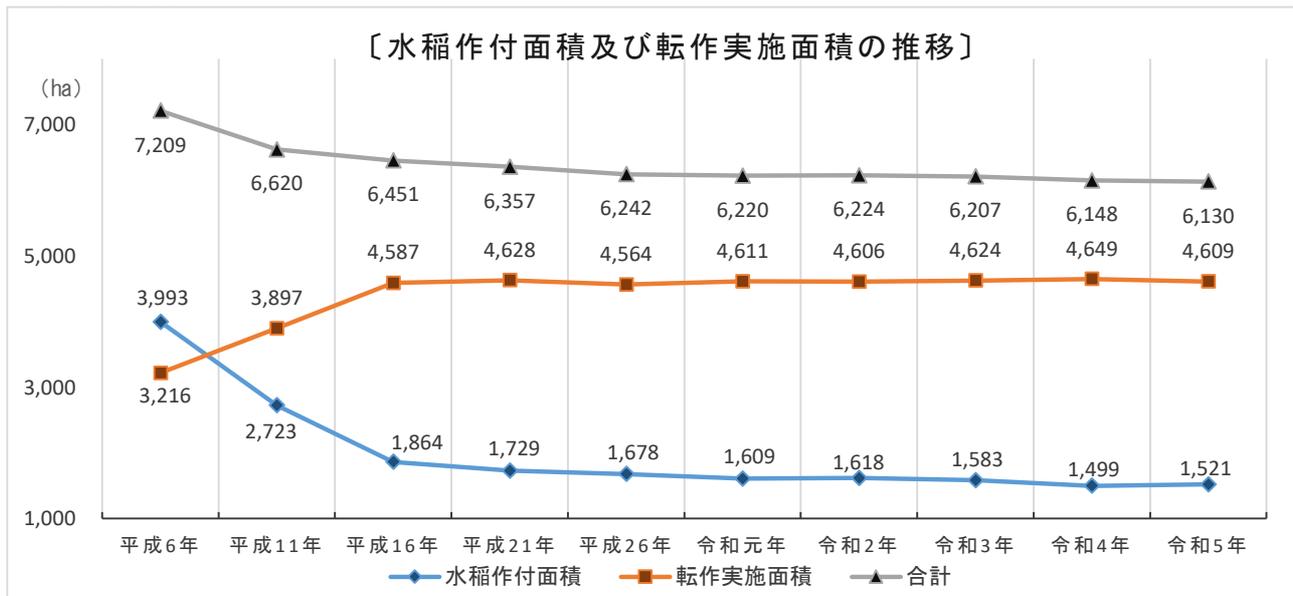


3 水稲作付面積及び転作実施面積

単位:ha

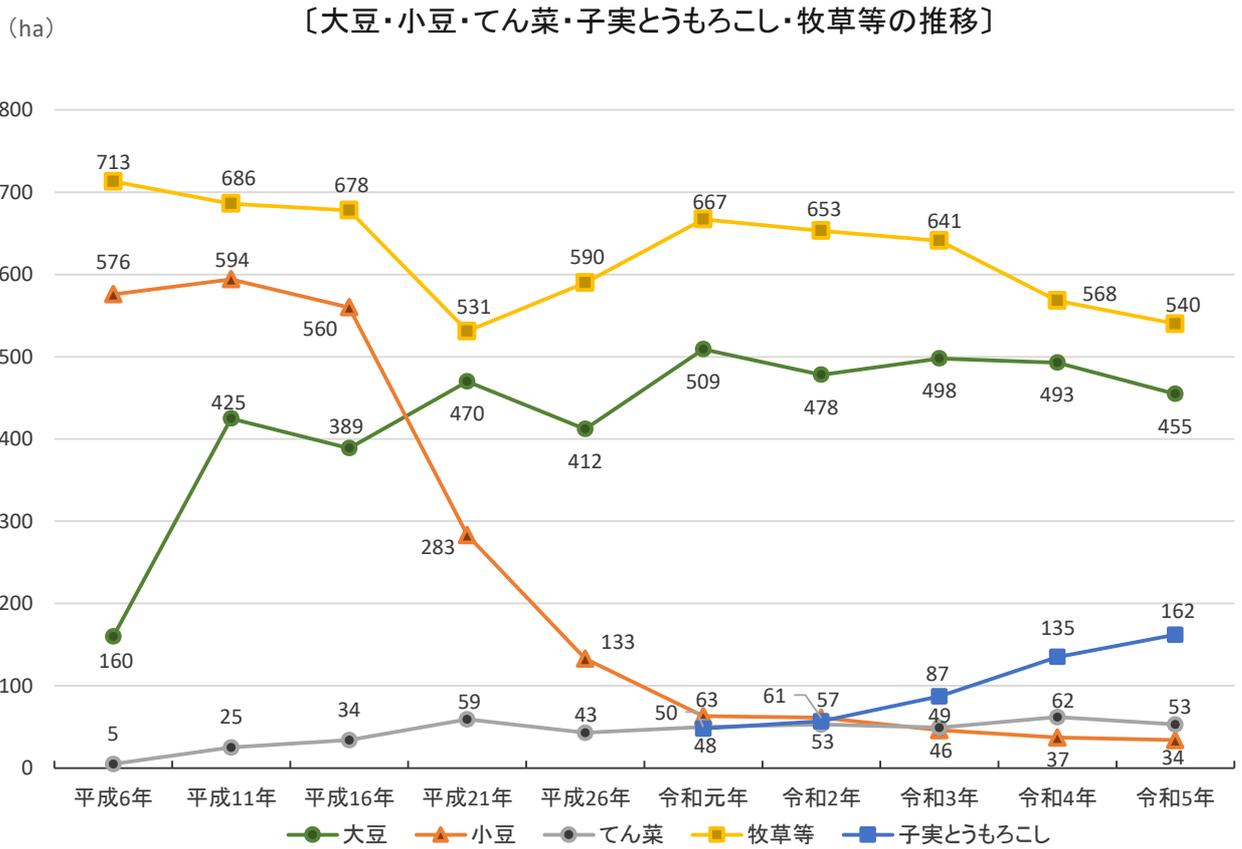
区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成6年	3,993	-	3,216	1,164	160	576	5	-	69	713	-	529
平成11年	2,723	-	3,897	1,583	425	594	25	-	78	686	-	506
平成16年	1,864	1,864	4,587	2,605	389	560	34	103	68	678	-	150
平成21年	1,729	1,729	4,628	2,904	470	283	59	257	82	531	-	42
平成26年	1,678	1,580	4,564	3,049	412	133	43	195	99	590	-	42
令和元年	1,609	1,542	4,611	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67
令和2年	1,618	1,542	4,606	2,898	478	61	53	274	68	653	57	64
令和3年	1,583	1,371	4,624	2,922	498	46	49	266	69	641	87	47
令和4年	1,499	1,339	4,649	2,982	493	37	62	266	69	568	135	37
令和5年	1,521	1,318	4,609	2,983	455	34	53	259	72	540	162	50

資料:町農務課

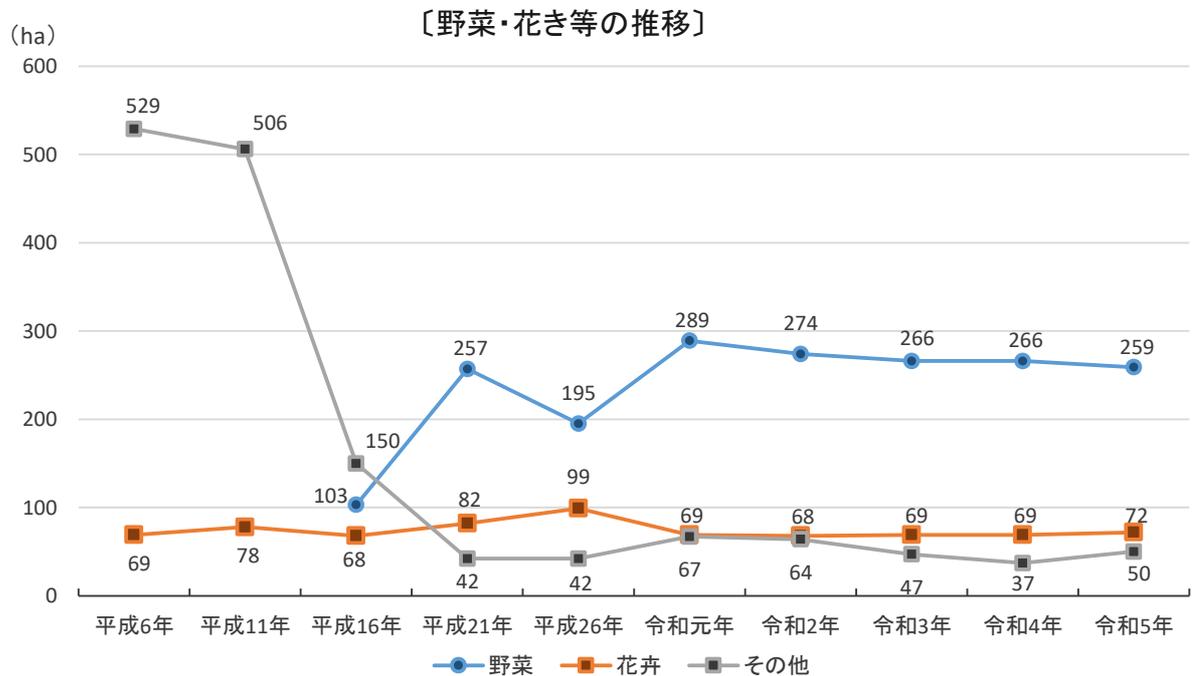


当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、令和元年度以降増加傾向で推移しています。

水稲作付面積は、平成11年産以降減少していましたが、令和5年産は増加しています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向となっています。
また、大豆は令和元年度以降500ha前後を推移していましたが、令和5年度は減少となっています。



野菜の作付面積は、令和元年度をピークに減少傾向となっています。
花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。